

大切な学び舎

2013年9月20日

私は8年間の現地校生活を送った後、中学一年生の3学期からメルボルン日本人学校に転入しました。幼稚園から現地校に通っていた私は、日本語すら少し怪しい状態での入学でした。しかし、そんな私を温かく、メル校の先生方やクラスメートは受け入れてくれました。

まず、勉強面に関しては少人数での授業なので、とてもきめ細やかなご指導をしていただきました。普段の丁寧な授業はもちろん、放課後には先生との一対一の補習を受けることもできました。生徒の納得がいくまでしっかりと向き合ってください先生方の熱心な姿勢は、とても心強くありがたかったです。このようなサポートを通して、私は徐々に勉強に自信が持てるようになっていきました。クラスメートともお互いの得意分野を生かして、切磋琢磨しながら勉強に励みました。

国語力などの向上はもちろん、英語力も向上しました。日本人学校に転校するにあたって、英語力の低下を心配していたのですが、その必要は全くありませんでした。今まで感覚的に習得してきた英語力を尊重していただいた上で、基礎的な文法の構造などを教えていただき、英語への更に深い理解や関心を得ることができました。その結果、個人的には現地校に在籍していた時よりも、確実な英語力の向上を感じました。

勉強面以外の学校生活も、とても充実していました。学年の壁を越えて仲がよい学校なので、毎日の生活はもちろん、宿泊研修や運動会などの行事もとても楽しかったです。校内のいたるところから聞こえてきた挨拶や笑い声は、今でも鮮明に覚えています。休み時間には小学生、中学生、そして先生方も一緒になって校庭で遊んでいました。また、生徒一人一人がそれぞれの個性や長所を發揮できる環境だったので、自由にのびのびと成長することができたと思います。大きな学校だったら縁のなかったかもしれない委員会や生徒会活動にも参加することができ、とても有意義な日々を過ごしました。

このように、私にとってメル校とは、たくさんの学びと思い出を得ることができた大切な学び舎です。そんな大好きなメル校を卒業することはとてもつらかったですが、自信と希望を抱いて、無事に日本の高校に進学することができました。夢に見た高校生活は戸惑いと新しい発見の連続ですが、メル校での学びを生かして、乗り越えていっています。しっかりと勉強に取り組む姿勢がメル校で身についたので、忙しい生活の中でも、学業と部活動を両立できています。また、メル校で出会った仲間たちとも、SNSなどを通して、連絡を取り合っています。いつか同窓会を開いたときには、たくさんの思い出話で盛り上がることでしょう。その日が来るまで、私は高校生活を一生懸命頑張りたいです。